

山口日独協会ニュース

Neuigkeiten der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Yamaguchi

Nr. 129, März, 2017

山口日独協会 〒753-0083 山口市後河原94
Japanisch-Deutsche Gesellschaft Yamaguchi:
Ushirogawara 94, Yamaguchi, 7530083, JAPAN
TEL/FAX : 083-920-2965
<http://www.jdg-yamaguchi.jp/> メール: info@jdg-yamaguchi.jp

協会からのお知らせ

1 2017年度総会のご報告

山口日独協会第26回定例総会および懇親会が、平成29年2月12日(日)、山口市の湯田温泉ユウベルホテル松政にて開催されました。

議事に先立ち尾崎馨さんを議長に選出し、議事へと移りました。

議事の内容は、平成28年度事業報告・会計報告・会計監査報告、29年度事業計画・予算案、役員改選です。役員改選では、理事に上原久生、尾崎馨、斉藤郁夫、三輪茂之、平井多美子、杉井文香、藤川瑞穂、山根洋平、富田博之(新)、藤井杏子(新)、監査に上野憲子、村上麻里子の皆さんを選出。全員賛成で、承認されました。(資料を同封しています)

今回理事を退任された、内田誠さん、桐原美紀さん、今まで有難うございました。

総会に引き続き記念行事が催され、山本達夫さんから「ドイツ交換留学29年」と題して講演を行っていただきました。山本さん自身のドイツでの留學生活、ドイツ人との温かい沢山の交流等をお話しいただきました。

記念行事の後は会場を移し、懇親会を開きました。乾杯の音頭は、この日一番遠く岩国市から来られた味村憲征さんをお願いしました。会員同士の近況報告、ドイツへの話題などドイツワインなどを楽しみながら、歓談の場となりました。

後日、理事会を開催し、会長：ヒンターエーダー＝エムデ、副会長・理事長：上原久生のお二人を選出しました。役員の任期は2年です、どうぞ宜しくお願いします。

2 行事のご案内

(1) ドイツ語会話教室

昨年度から再開講しました。来年度4月以降の日程は以下のとおりです。

①「ドイツ語はじめ」 講師：渡辺アンゲリカ先生

第2金曜日 19時30分～ 4/7, 5/12, 6/2, 7/7

第4金曜日 19時～ 4/22, 5/20, 6/17, 7/22

②「ドイツ語サロン」 講師：エムデ・アンゲリカ先生

第2・第4水曜日 19時～ 4/26, 5/10, 5/24, 6/21, 6/28, 7/5, 7/19

*受講料：半期10回で、会員;8,000円・一般;10,000円

*場所：両教室とも会員嶋田日出夫さん宅(山口市前町2-11、「出入り口は、旧道沿いでコミュニティ・バスの停留所(前町)と郵便ポストが目印」

*お問合せ:理事尾崎馨さん(080-1948-2390/ozaki-js@c-able.ne.jp)へお願いします。

(2) 「リンデンバーム・ピクニック」

・日 時：5月21日（日）11時30分～

・場 所：山口市亀山公園山頂の菩提樹の下にて

3 昨年、日独交流 150 周年を記念し、友好のあかしとしてドイツ連邦共和国大使館より菩提樹を寄贈され、亀山公園に植樹しました。この菩提樹を見守るためにも、毎年5月第3日曜日にリンデンバーム・ピクニックを行っています。ご自分のお弁当を持ってぜひお越しください、お待ちしております。飲物は、日独協会でご用意します。

3 会員の皆さんからの投稿、情報提供

(1) 会員の犬牟田樂子さんからの投稿です。この春に山口県立大学を卒業、一昨年から昨年にかけての在学中のドイツ留学中のお話です。「私のドイツ留学記①」を次ページ以下に掲載しています。

(2) 総会出欠ハガキに書いていただいた会員の方からの近況報告等をお知らせします

・安藤和枝～何とか日常生活は送っていますが、日々体の衰えを感じながら主人と2人での生活を送っております。楽しかったドイツ旅行を思い出してはなつかしく思います。

・藤村佐智代～総会開催おめでとうございます。又いつか出席出来る時がくれば出かけたと思います。

・山根洋平～急に山口へ出泊することがあると思います、見かける機会があるでしょうか？

・関本彩加～まさかの3人目を授かりました。再び禁酒の日々です。

・古谷正二～1月26日六甲山ホテル（神戸市）に宿泊。その際「山口には美味しいドイツワインのお店があるが、知っているか」との従業員の質問。テレビで知ったとのこと。

驚きました!!

・田中耕太郎・康子～今月は12日も18日も東京出張などと重なってしまい、いずれも出席できず申し訳ありません。

・徳富信恵～いつも大変お世話になっております。今年はメサイアの合唱が集大成ですね。またよろしく願い致します。（㊤共催している7月の山口国際交流芸術祭の事です）

・中村隆～初めて出席します。よろしく願い致します。

・河中博子～いつもお世話になります。2月のポルシェセンターのリサイタルに出かけたと思っています。

(3) 「秋吉台の響きコンサート」

・日時：4月23日（土）15:00開演（14:30開場） ・場所：秋吉台国際芸術村

・チケット：一般2,500円、大学生以下1,000円 *当日券は共に500円増し

日本を代表するトップアーティストが今年も秋吉台国際芸術村へ集まります。今回で20回目の公演となりました。山口日独協会も後援しています。（チラシを同封）

(4) 「ハンブルク交響楽団 山口公演」

・日 時：7月2日（日）17時開演（16時開場）

・会 場：山口市市民会館大ホール （チラシを同封）

山口日独協会も予約を受け付けています。500円割引となります。

ご希望の方は、上原理事長までご連絡ください。

私のドイツ留学記 ① ～ドイツで日本語を学ぶ人たちに出会って～

初めまして。山口県立大学国際文化学科を最近卒業しました、大牟田樂子（おおむたらこ）と申します。よく「本名ですか？」と聞かれますが、本名です（笑）。何卒よろしくお願いします。

今回、記事を書かせていただくにあたり、少しだけ私のことを説明させていただきます。

私とドイツの出会い、大学1年の時にドイツ・ベルリンでのスタディーツアーでした。スタディーツアーで、ドイツの文化・歴史・食（特にビール）にハマり、「もっとドイツで暮らしてみたい！」と思うようになり、長期留学を目指すようになりました。しかし、山口県立大学には、ドイツとの提携校はなく、どうしようかと悩める日々でした。



2013年ベルリンにて

「ドイツに行きたいなあ」と考えながら、大学3年から、副専攻として日本語教育課程を履修し始めました。この課程では、海外の高校などの中等教育機関で日本語教育実習をする機会があり、現在中国・韓国・ニュージーランド・オーストラリア・アイルランドへ毎年学生が実習に行っています。

「この制度にドイツがあったら最高なのになあ」と思いながら、駄目元で教授に聞いてみたところ、なんと教授の知り合いの方がドイツで日本語を教えていらっしゃる、さらには実習を受け入れてくださるといふ、実にラッキーなことになりました。そこで、大学4年次の渡独を目指し、準備を始めました。

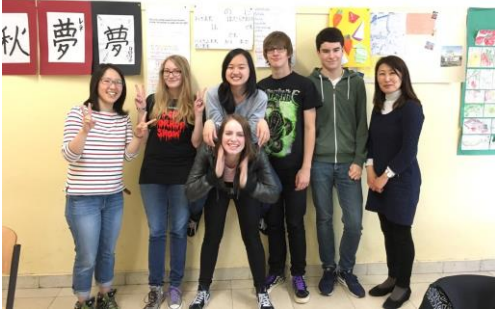


2014年シュヴェービッシュ・ハルにて
クラスのご飯会

また大学3年の頃から、ご縁があり、山口大学のドイツ語の授業に参加させてもらいながら、少しずつドイツ語を学び始め、そしてスタディーツアーでお世話になった先生に相談し、「とりあえずゲーテ・インスティトゥートに行ってみたらどうか」という助言をいただいたので、大学3年時に南ドイツのシュヴェービッシュ・ハルという町にあるゲーテ・インスティトゥートに一ヶ月間行きました。A0というA1より下のクラスから私のドイツ語は始まりました。（A0は本当にドイツ語初心者という人たちだけでした。日本人は私だけでした（笑））

一ヶ月が終わる頃には、少しだけ上達したドイツ語と、よりドイツに行きたいという思いが強くなっていました。また、ゲーテでの語学コースが終わってから、実習を受け入れてくださった先生のところへも行きました。

そして、大学4年になる年に、留学の奨学金を無事に得ることができ、2015年8月29日から2016年8月2日までの一年間、西ドイツ・デュイスブルクのギムナジウム（中等教育機関）で、日本語の授業の日本語教育助手（以下TA）として活動してきました。



2016年デュイスブルクの
ギムナジウムにて

まず、デュイスブルクという町を紹介します。
デュイスブルクは、ノルドライン・ヴェストファーレン州にあり、日本との直行便のあるデュッセルドルフまでREで15分、U-bahnでも一時間のところにあります。また、ルール工業地帯に位置しているため、昔から鉄鋼業と物流業で栄えてきました。とりわけ、19世紀から20世紀にかけては、鉄鋼業が最盛期であり、第二次世界大戦時には爆撃の的となってしまふほど工場が多かったそうです。鉄鋼業で栄えていたせい、昔から移民が多く、現在もなお町の

人口の約16%が外国人です。今は移民や難民がもっと増えているでしょうから、外国人の割合はさらに高くなっているのではないかなと思います。そして、町のランドマークである、Landschaft Parkは、かつてあった工場が閉鎖された後、そのまま公園にしたところで、地元の学生、また多くの観光客が訪れます。日本でも、一部の廃墟ファンの間で有名などころらしいです。あと個人的にですが、中世にプロイセン領にあったせい、ところどころにプロイセンの名残があるのかなと感じています。（ベルリナーとか。）



2016年デュイスブルクにて

今回は、私のドイツ留学までの経緯と、デュイスブルクの紹介をさせていただきました。次回は私のドイツでの生活について紹介させていただきます。

山口大学の藤川哲さんから「グランド・ツアーへのお誘い」の記事を頂きました。

「グランド・ツアーへの誘い」

藤川哲

2017年は10年に1度、ドクメンタ（ドイツ・カッセル）、ミュンスター彫刻プロジェクト（ドイツ・ミュンスター）、ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展（イタリア・ヴェネツィア）が同年開催されます。

かつて「グランド・ツアー」といえば、17～18世紀のイギリス上流階級の子弟の間で盛んだったヨーロッパ大陸への大周遊の修学旅行のことを指しました。彼らは、家庭教師などを伴い、数か月から数年ほどかけてヨーロッパ大陸に滞在し、例えば、イタリアでは貴族に相応しい教養として一流の芸術や古代遺跡などの異文化に触れ、フランスでは洗練された礼儀作法やファッションなどを学んだのです（映画「眺めのいい部屋」の主人公もフィレンツェを旅していましたね）。

これが転じて……。さきほどの3つの国際的美術展が、紆余曲折を経て同年開催されるようになったのが1997年。そしてこれらにアート・フェア（スイス・バーゼル）を加えた、ヨーロッパ現代美術の4つの大イベントを巡る旅を、2007年から「グランド・ツアー」と呼ぶようになったのです。

今回が第57回目と歴史あるヴェネツィア（今年の日本館代表は、アーティストが広島出身の岩崎貴宏、キュレーターが金沢21世紀美術館の鷺田めるろ）、ヴェネツィアと並んで国際美術展の双壁と呼ばれ14回目を迎えるドクメンタ（今回の芸術総監督はクストハレ・バーゼルのディレクター兼チーフキュレーターであるアダム・シムジック）、規模は小さいものの、街の歴史や風景などをリサーチして作品制作をするため質の高さが魅力のミュンスター、これら3つの展覧会で話題になった作家の作品を直接買うチャンスもあるアート・バーゼル。さらに今年は、この4つに先駆けてドクメンタをアテネでも開催するという試みもあります。

このように今年は、世界の現代美術の最新動向に触れながらヨーロッパを周遊できるまたとない機会です。この春から秋にかけてヨーロッパに足を運ぶきっかけには、もってこいかもしれません。

◆開催日程

1. ドクメンタ 14（アテネ 4/8～7/16）
2. ヴェネツィア・ビエンナーレ第57回国際美術展（2017/5/13～11/26） 2年ごと
3. ドクメンタ 14（カッセル 2017/6/10～9/17） 5年ごと
4. ミュンスター彫刻プロジェクト 2017（第5回）（2017/6/10～10/1） 10年ごと
5. アート・バーゼル（2017/6/15～18） 毎年

◆参考サイト

- ・ グランド・ツアー2017 <http://www.grandtour2017.org/>
- ・ ドクメンタ 14 <http://www.documenta14.de/en/>
- ・ ヴェネツィア・ビエンナーレ第57回国際美術展
<http://www.labiennale.org/en/art/news/22-09.html>
- ・ ミュンスター彫刻プロジェクト 2017 <https://www.skulptur-projekte.de/>
- ・ アート・バーゼル <https://www.artbasel.com/>

<会費納入のお願い>

会費：法人；10,000円、一般；2,000円、家族；1,000円、学生；1,000円

【会費納入方法】 振込先：

- ・ 郵便局 口座番号；01550=9= 26140 加入者名；山口日独協会
- ・ 山口銀行県庁内支店 口座番号；6171166 加入者名；山口日独協会

山口日独協会へのお問合せは、各理事か上原理事長へご連絡をお願いします。
メールでも結構です 上原（TEL:083-920-2965・メール:info@jdg-yamaguchi.jp）